

Vol.147

2021年10月号

やらざあ

夏のボランティア体験

サマーチャレンジ2021を実施しました!

小学6年生から専門学校生まで50名のみなさんから申込みをいただき、市内の保育園、幼稚園、福祉施設等でボランティア体験をしました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、残念ながら中断となってしまい全員の体験はできませんでしたが、体験できた参加者からの学びや気づきをご紹介します。

★「玉川保育園」で体験

最初はとても緊張していたけれど、保育園児や先生方が色々教えて下さり、慣れていくことができました。保育園児と同じ目線に立ち、対応したり関わることができました。

今回の体験で子どもとの関わりの中で大切なことやいけないことなどを改めて感じることができました。

高校生

★「介護老人保健施設 虹の森」で体験

体験で一番うれしかったことは、おじいちゃんおばあちゃんが毎日帰るときに拍手をしてくれたことでした。やりがいを感じました。話をしているうちにいろんなことを話してくれて楽しかったです。

将来の夢にこの経験を活かせるように頑張っていきたいと思います。

高校生

★「小泉保育園」で体験

保育園の先生たちは1日中ずっと子どもを見ていて大変だと思いました。小さい子が私のところに来て「これやってください」と言ってくれて、うれしかったしかわいかったです。

大変さややりがいを学べて、貴重な体験ができました。

中学生

★「北山保育園」で体験

先生に「これやってもらえる?」と言われたこと以外にも自分から自分のできることを積極的にできました。子どもたちも「これやろう!」とたくさん話しかけてくれてとても楽しかったです。

心に残ったことは、先生たちがみんな優しく、最初は緊張したけれどどんどん楽しみながらやることのできたことです。

小学生





市民にとってより身近な存在としての「社会福祉協議会」を目指して

～茅野市社会福祉協議会の新たなスタート～

社協の経営組織は、職員の他に、社協が行う各事業や財政なども含めた社協経営全般の意思決定や他の理事の職務の執行の監督等を行う理事会、社協の運営に係る重要事項を議決する評議員会、理事の職務の執行や社協の事業報告や決算書等を監査する監事で運営されています。

理事、監事、評議員には、広範囲の分野のみなさんに参画していただき、それぞれの団体・組織・地域の役職での立場で、共に連携・協働しながら地域福祉の推進を図っていきます。

このたび、役員（理事及び監事）と評議員の一斉改選が行われ、新しい役員及び評議員が選任されましたのでご紹介いたします。

役員（理事10名・監事2名）任期：令和3年6月21日～令和5年6月定時評議員会まで

役職名	氏名	所属・経歴等（主なもの）
会長	今井 敦	茅野市長
副会長	小尾 定良	豊平地区福祉推進委員連絡会代表
副会長	田村 満理	茅野市民生児童委員協議会ブロック女性幹事
常務理事	竹内 武	茅野市社会福祉協議会事務局長
理事	入倉 一郎	市民ネットワーク防災ちの代表
〃	北沢 喜一	玉川地区社会福祉協議会会長
〃	高木 宏明	諏訪中央病院副院長
〃	内藤 容成	公立諏訪東京理科大学講師
〃	矢崎 敏臣	前第5次茅野市総合計画審議会会長
〃	義経恵美子	特定非営利活動法人ふくろうSUWA 理事長
監事	北原 隆幸	柳澤会計
〃	小林 宏	前茅野市社会福祉協議会副会長

■ 新会長あいさつ 「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指して

このたび茅野市社会福祉協議会会長に選任されました今井です。

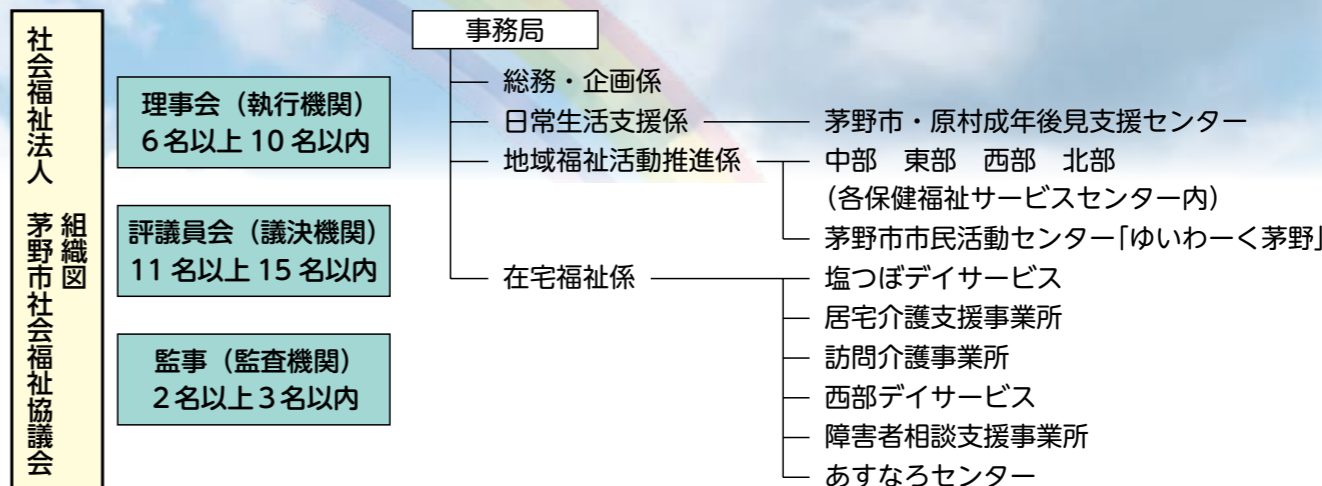
多様化・複雑化する地域生活課題の解決に向けてどのような役割を果たすべきか、茅野市社協が担っている役割・機能を改めて認識し、高齢者人口がピークを迎える2040年の20年先の社会と福祉のあり方を見据え、誰一人取り残さない「ともに生きる豊かな地域社会」の実現を目指したいと考えています。

そのために、

- ① 茅野市社協の使命である「地域福祉の推進」の更なるバージョンアップ
- ② 広義の福祉を進めるため関係する分野との積極的な情報共有
- ③ 地域の保健、医療、福祉の関係機関の皆様との新しい推進体制の構築の3点を重点に進めてまいりたいと考えています。皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



新会長 今井 敦



評議員（12名） 任期：令和3年6月21日～令和7年6月定時評議員会まで

選出分野	氏名	所属・経歴等（主なもの）
子育て分野	小澤 礼子	茅野市更生保護女性会会長
ボランティア・市民活動分野	河西知恵子	ゆいわーく茅野運営委員会副委員長
社会福祉事業関係者	後藤 浩	社会福祉法人愛泉会精明学園施設長
こども・家庭、福祉教育分野	五味留美子	茅野市教育委員会こども課長
地域の代表者	坂井 富夫	宮川地区コミュニティ運営協議会会長
地域生活支援関係者	佐々木秀子	保護司会茅野支部副支部長
障害者、高齢者分野	戸川 榮司	茅野市手をつなぐ育成会会長
地域の福祉関係者	原田 泰子	前茅野市の21世紀の福祉を創る会副代表幹事
高齢者、生涯学習分野	両角 勝元	茅野市中央公民館長
地域の福祉関係者	矢花 三男	宮川地区社会福祉協議会会長
産業経済分野	山岸 進	茅野商工会議所事務局長
学識経験者	依田 利文	茅野市健康福祉部長

■ 前会長あいさつ 「ありがとう」と言うように云われるように

市民のみなさんはじめ、地区社協、民生児童委員、福祉推進委員、行政区・自治会の関係者各位のご支援ご協力を賜り、平成26年7月より令和3年6月まで、職務を全うすることができましたこと、心より感謝申し上げます。

私達は自分ひとりでは生活していけません。家庭、お隣さん、地域、職場、社会活動など多くの人とのつながりにより、支えられ助けられ生活しています。支え合いや助け合いは、人のつながりを生み出しますので、人を孤立にしません。私が支えていると思ったら、私が支えられていた。私が支えられていると思ったら、私が支えていた。まさに、「⑤だんの ④らしの ③あわせ」。人が幸せになれば、自分も幸せになります。福祉は人を幸せにします。

茅野市社会福祉協議会は、誰もが、住み慣れた地域で、家で、安心して、心豊かに自分らしい生活が続けられることが願いであります。

当たり前に見えることにも、感謝の気持ちを忘れずに「ありがとう」と言うように云われるように」を大切に、誰もが住みやすい地域を目指しましょう。長年ありがとうございました。



前会長 金田照俊

ボランティアの力を被災された方々に届ける

災害ボランティアセンター

～“地域の力”って大きい!!～



8月の大雨により、諏訪地域でも災害が発生し、茅野市内でも災害の危険度が高まり避難指示が出るなど、身近な所で災害が起きています。災害が発生した場合、社会福祉協議会を中心に災害ボランティアセンターが立ち上がります。ボランティアの力は、被災地復興のために欠かせません。災害ボランティアセンターは、ボランティアの力を被災されたみなさんの生活支援につなぐ役割を担っています。

災害ボランティアセンターの機能

支援を必要としている方の要望や、場所を確認します。
(ニーズの受付)

要望をもとに、ボランティアとして集まった方々に、活動内容や活動先を紹介します。
(ボランティアの受付・マッチング)

活動先が決まったボランティアの方に必要な活動資材を渡し、送り出します。活動終了後は、報告を聞き取ります。

もし茅野市で災害が発生し、家の清掃や片付けなどを手伝ってほしいと思ったら…

茅野市でも災害が発生した場合、茅野市災害対策本部との協議により、「茅野市災害ボランティアセンター」が立ち上がります。

災害によって被害を受け、家の清掃や片付け、生活の困りごとなどでボランティアの力が必要となったら、「茅野市災害ボランティアセンター」にご連絡ください。以下の手順でボランティア活動につなげます。

① まずは… 茅野市災害ボランティアセンター（茅野市社会福祉協議会）にご連絡ください。

② 次に… 依頼したい内容やお手伝いしてほしい場所（居住地のみ）を伝えてください。

③ そして… ボランティアの調整や活動日時等の調整を行います。

④ いよいよ… ボランティアが派遣され、家の清掃や片付けのお手伝いを行います。



災害ボランティアとして活動したいと思ったら…

① 情報をキャッチ!!
現地のボランティアの受け入れ状況を知ろう

被災した市町村では、現地の状況に応じて、順次ボランティアの受け入れを行っています。現在、新型コロナウイルスの影響で、募集地域を限定した募集が多いので、必ず現地の社会福祉協議会のホームページ等で募集状況を確認しましょう。

② 準備品のチェック!!
装備品、移手段、宿泊場所等を確認しよう

活動内容、季節・天候に合わせた服装や装備品等を準備しましょう（右の装備例参照）。移手段として、個人での移動のほかには社会福祉協議会等が実施するバスパックに参加し、現地に入る方法もあります。宿泊の場合は、事前に宿泊場所を確認しておきましょう。



(特非) レスキューストックヤード発行

③ もしものときのために!!
ボランティア活動保険に加入しよう

ボランティア活動中の事故に備えて、必ず事前にボランティア活動保険に加入しましょう。ボランティア活動保険は、ゆいわーく茅野で加入できます。（茅野市ひとまちプラザ 1階 TEL: 75-0633）

④ そして…
現地でボランティア活動スタート!!

現地の災害ボランティアセンターの指示に従い、ボランティア活動を行います。被災された方々への心配りと自身の健康に気をつけながら活動を行いましょう。活動時も新型コロナウイルス感染予防対策にも十二分に注意しながら活動を行いましょう。



ボランティア参加以外でも、被災地を応援できます!

ボランティア参加以外でも、被災地を応援することができます。それが義援金へのご協力です。茅野市共同募金委員会と茅野市社会福祉協議会では、災害が発生した際には、被災された方々を支援することを目的に、義援金の受付と募金箱の設置を行っています。

やっぱり地域の力は大きい!!

現在、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、ボランティアの募集範囲を限定しなければならず、多くのボランティアの力を借りることができません。

令和元年に長野県内で発生した千曲川の氾濫による大規模な災害の際には、自身の家の片づけを行いながら、隣の家の作業を手伝うといった場面がたくさんあったと聞きました。有事の際には、ボランティアの力だけでなく隣近所での支えあい、助け合いがとても大きな力を発揮します。

茅野市内でも、宮川地区や豊平地区など有事の際に備えて、様々な取り組みを行っている地区もあります。

有事の際に支えあいの力を発揮できるよう、日ごろからの地域でのつながりや支えあいをみんなで一緒に考えていきましょう。

赤い羽根共同募金



運動期間 10月1日～12月31日

赤い羽根共同募金は、1947年（昭和22年）に「国民たすけあい運動」として行われたのがはじまりです。以後、毎年10月から12月にかけて行われる共同募金運動は、「地域福祉の推進」を目的として、今も続く歴史の長い募金活動です。

そして70年以上たった今、社会が大きく変化する中で、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組む活動や、自ら地域をつくっていく活動を財政面から支える仕組みとして、また、地域のみなさんのやさしさや思いやりを届ける運動として実施しています。

茅野市の町をよくするしくみ



赤い羽根共同募金は、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、自ら地域をつくっていく様々な活動を財政面から支える仕組みとして実施しています。

『じぶんの住む町が好き。だから、ずっと住み続けたい町』

そんな気持ちを支える仕組みが赤い羽根共同募金です。

たくさんの方のやさしさや思いやりが、共同募金を支えています。



令和3年度は、**9,000,000円**を募金目標額とさせていただきます。みなさんからご協力いただく募金は、令和4年度に茅野市を良くする活動のために使われます。みなさんからご協力いただいた募金のうち、約55%が茅野市内での福祉活動に役立てられ、残りの45%は長野県内の福祉活動・防災活動等に役立てられています。

お寄せいただいた募金は、令和4年度、以下のような事業に使われます。

茅野市社会福祉協議会の事業へ

情報紙やらざあ発行や、市内の小・中・高校での様々な福祉活動への助成

地区社会福祉協議会の事業へ

地区社協による、福祉推進委員活動など身近な地域の支えあい活動支援や、高齢者の配食サービスなどの活動支援

市内ボランティアグループの事業へ

茅野市内の高齢者、障害児・者、児童・青少年、住民等を対象にしたボランティアグループへの助成

長野県内の広域事業へ

区・自治会等で防災のために整備する物品・設備の助成(※)や、孤立を無くす活動への助成、県内の福祉施設・団体への助成、災害等準備金 など

(※) 区・自治会等の防災活動を支援する「安心・安全なまちづくり活動公募配分」について、今年度は茅野市内の4区に令和2年度共同募金より総額752千円が配分され、防災物品保管用物置・発電機・投光器などを購入し、いざという時や日常の訓練等に役立てられています。



茅野市結婚相談所～しあわせのお手伝い～

“お見合い”即“結婚”とは昔のことです。結婚は“良き出会い”から始まります。出会いを大切に、まずは良き友人となってください。お二人が、大切な方だと感じたとき、人生のパートナーとして、お互いの結婚を考えれば良いのです。

“素晴らしい出会い”を7名の結婚相談員が、あなたのプライバシーを守りながら親身になってお手伝いいたします。お気軽に茅野市結婚相談所へお越しください。

登録は簡単！

・『登録カード』に必要事項を記入し、6カ月以内に撮影した、ご自身が映っている写真を添付するだけで登録できます。

※ 登録・ご相談は必ずご本人がお願いします。

- ・お住まいの地域は問いません。ただし、登録から相談・出会いまで茅野市内で行います。
- ・相談員が間に入りますので、気まずい思いをせずにお断りすることもできます。秘密は厳守します。
- ・相談日に予約は必要ありません。初回のご相談は、早めにお越しください。



【相談時間】

毎月第1・第3土曜日の13時00分～16時00分

毎月第2・第4金曜日の18時30分～20時30分

(相談終了時間30分前には、来所をお願いします)



【相談員からのメッセージ】



「この人なら未来を描くことができる。そんな出会いがあるはずだ」と信じて勇気を出して結婚相談所の門をたたいてください。相談員7名が当番でお待ちしています。(相沢きほ)



結婚相談員『世話やきおばさん』を始めて14年目になりました。勇気と希望をもって登録してみませんか。気軽に相談できるチャンスを作りますので、お出かけください。(樽井洋子)



あなたの人生を変えてみませんか。相談所でお待ちしております。素敵な人生への第一歩、一緒に探してみませんか。(岩波淳)

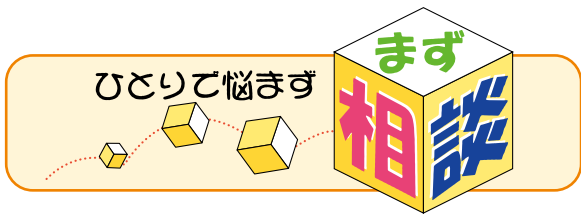


今年も『ひとにぎりのお米(支援米)』を募集します!!

生活に困窮し、経済的な事情で日々の「食」にお困りの方などの生活を支えるため、支援米を募集します。

- (期間) 10月4日(月)から12月3日(金)まで
- (受付) 茅野市社会福祉協議会 事務局《茅野市ひと・まちプラザ2階》
※ お米は直接、社協事務局へお持ちください。
- (受付物) うるち米(新米、玄米、古米は令和2年度産のもの)
※ 粳での受付はできません。
※ もち米と、野菜については事前にお問い合わせください。
- (送付先) SOSネットワーク諏訪、反貧困ネットワーク長野、市内の生活で困っている世帯等
- (問合せ先) 茅野市社会福祉協議会 Tel 73-4431





人生には様々な悩みがあります。

「誰にも相談できない」

「どこに相談したらよいかわからない」

そんなときは、まず社協にお電話ください。

すべての相談会場は

社協相談室(茅野市ひと・まちプラザ2階)になります。

☎73-4431

心配ごと相談

どんなことでもご相談ください。

毎週金曜日 午前9時～正午

相談員：社協職員

結婚相談

結婚を望まれる方の相談

毎月第1・3土曜日 午後1時～午後4時

毎月第2・4金曜日 午後6時30分～午後8時30分

相談員：結婚相談員

司法書士の法律相談（予約制）

身近な法律に関する相談

毎月第2水曜日 午後3時～午後5時

相談員：司法書士



社協広報紙 **やらざあ** Vol.147

2021年10月号

発行／社会福祉法人 茅野市社会福祉協議会

編集／やらざあ編集委員会

〒391-0002

茅野市塚原2-5-45 茅野市ひと・まちプラザ2階

TEL (0266)73-4431 FAX (0266)73-8030

URL : <https://sharara.or.jp>


E-mail : support@sharara.or.jp

読者の声


- ふと聞こえた風鈴の音に涼を感じます。暑さの体感は変わらないのですが、なぜあんなに心地良く涼しげに聞こえるのでしょうか？気持ちの面から暑い時期を乗り切りたいです。待ちに待ったオリンピックの開催。そして日本のメダルラッシュ。普段見ることのない競技が見れ、見聞が広がり楽しいです。メジャー競技からマイナー競技まで今日もテレビの前で観戦です。 (豊平 男性)
- 朝早く運動公園を歩くと涼しくて気持ちよくウォーキングを楽しんでいます。足のために。 (宮川 70代 男性)
- 『明日か、来月か、来年か、いつ来るかわからない死にびくびくとおびえるよりも生かされている今を精一杯生きることだ 瀬戸内寂聴』 この言葉にあやかって生きたいと願っています。 (ちの 90代 女性)
- コロナ禍でもいこいの集いや希望の旅の参加者募集が始まりました。この企画で日頃介護する側、される側の双方の心が癒されて大変嬉しく思います。 (宮川 50代 女性)
- 毎朝80歳の元気印の友人と楽しくウォーキングをしています。道端に咲く花をみて「かわいいね～」と…。すれ違う方に「おはようございま～す!!」と声を掛け気持ちのよい日が始まります。こんな、なにげない事が出来る日々感謝です。 (玉川 60代 女性)

今回のクイズ

オリンピック



オリンピック東京2020大会で日本が獲得した金メダルの数はいくつでしょう？



応募要領

クイズの答え、住所、氏名、年齢（年代）、電話番号に社協へのご意見、ご要望、やらざあのご感想、つぶやきなど一言添えて社協（やらざあ編集委員会）までお送り下さい。ハガキや封書の他、ホームページのお問い合わせフォームからも応募できます。正解者の中から抽選で3名の方に図書カードを差し上げます。

応募締め切り 令和3年10月13日（水）


前回のクイズの答え ロンドン

当選者

上原千代子さん（ちの） 山田 准さん（ちの）
吉田みのりさん（宮川）

当選された方には図書カードをお送りいたします。

ご応募ありがとうございました。



社協広報紙 **やらざあ** の発行にはみなさんの社協会費と共同募金が使われています。